



# エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成27年6月7日（第58号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL (88) 6639 FAX (88) 3231

## 平成27年度総会を開催します

6月21日（日）午後2時

「プラ容器包装」の分別について学習

宇治田原町総合文化センター研修室1

エコパートナーシップうじたわらは、平成16年に策定された「宇治田原町環境保全計画」の進行管理を行うとともに、多くの方に様々な体験を通じて環境について考えていただく場を提供し、普段の生活においても環境に配慮した実践的な行動を取り入れていただくことを目的に活動しています。

今年1月からプラマーク容器包装の分別収集が開始され、リサイクルとゴミ減量化への取り組みが推進されるなか、当会も住民、事業所、行政との連携を更に強化し、地球環境はもとより宇治田原の自然環境や良好な生活環境を次世代に引き継いでいくための活動を積極的に取り組んでまいります。

総会議事終了後の基調講演では、京都府立大学教授の山川肇さんに「なぜ「プラマーク製品」の分別が必要なの？」と題してご講演いただきます。

限りある資源の有効活用はゴミの減量化に対する有効な手段のひとつです。どなたでもご参加いただけますので是非とも会場に足をお運びください。なお、総会に参加いただいた皆様には講演会終了後、**記念品として環境グッズをプレゼント**させていただきます。



講演いただく山川肇さん

### 山川肇さんのプロフィール

所属：京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授

専門：循環型社会論（ごみの減量行動やごみの減量政策などを研究）

著書：「拡大生産者責任の環境経済学」、「3R・低炭素社会検定公式テキスト」など（いずれも共著）

各種委員 京都市や枚方市の廃棄物減量等推進審議会の委員等

## 宇治田原の生き物と環境を学ぶ講座



今年も当会の阪本伊三雄副会長を講師に身近な自然を通じて宇治田原の環境を学ぶ講座が開催されます。親子で奮ってご参加ください。

### ①ホタル観察会

6月13日（土）午後7時～9時

総合文化センター～神縄橋（田原川堤）

### ②ふるさとの川探検隊

7月29日（水）午前10時～正午

役場裏（田原川河川敷）

### ③星空観察会

8月8日（土）午後7時～9時

まるやま交流館・宇治田原小学校 ※後の予定は別途告知

詳しい内容、お申込みについては宇治田原町教育委員会（☎0774-88-5850）までお問い合わせください。

開催告知と参加者募集は町広報紙等に掲載されます。

### エコパートナーシップうじたわら賛助会員

宇治田原工業団地管理組合、協栄開発株式会社、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町区長会、JA京都やましろ宇治田原町支店、宇治田原町森林組合、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、米田造園土木株式会社、有限会社富山資源開発、宇治田原町商工会、株式会社堀口新聞販売所、濱田プレス工藝株式会社、宇治田原町  
(敬称略・順不同)

# 温室効果ガスの削減目標を2013年比26%減に

5月1日、温室効果ガスに対する日本の削減目標が、「2030年までに、2013年度比で26%減」とであると新聞で報じられました。この数値には色々な問題を含んでいます。

○EUやアメリカの削減目標よりかなり低く、世界的な合意を得ることが出来るのか

○目標の基準年度が2005年度から、原発事故後に温室ガスの排出が増えた2013年度に変更になったこと

○目標値の中に流動的な原発の削減分を含んでいること

さて、国際間の駆け引きをしり目に、自然界では温暖化や気候変動の予兆となる活動が、ゲリラ豪雨の頻発や異常気象になって表れて来ており、待ったなしのところに来ていると思います。政府の掲げた目標を到達するのも容易なことではありません。一人一人できることから、子供の為孫の為に明日と云わず今日から温室効果ガスの削減に取り組むべきと考えます。

廃プラスチックの処理に関しても、温室効果ガスに大きな影響を与えます。

今回の総会での講演は廃プラスチックの分別やリサイクルをテーマにしていますので、地球温暖化を考える意味においても、6月21日の総会にお運びください。

## 事業所訪問を実施しました



4月24日、須河車体さんにお邪魔しました。

宇治田原の環境を更に良くするために、宇治田原にある事業所とより連携を模索する初めての試みでした。

あらゆる車種の車体の製造や整備の老舗らしく、環境に対する意識の高さが至る所に見受けられました。驚くほど広い敷地にも関わらず、工場内や工場外の整理整頓が行き届いていました。ISOに取り組みされた時期も早く、紙・ごみ・電気を始め、排水処理に係るLPガスの削減や500kwの太陽光発電の管理等、環境改善活動に切磋琢磨されている様子が、担当部長さんの説明で容易に理解できました。

これまでも清掃活動や自然ハイキングに参加していただき、更なる協力依頼をして訪問を終えました。

### ☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

#### ◆会員の区分

- ・個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

#### ◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

#### ◆入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

#### ◆部会

- ・広報部会・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等、エコクッキング教室等

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設・環境課内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: [junkan@town.ujitawara.kyoto.jp](mailto:junkan@town.ujitawara.kyoto.jp)

茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原

